

ほんわ館だより



第72号

平成30年9月発行

中山町立図書館 ほんわ館

中山町大字長崎8038 - 9

TEL : 023-662-6688

開館時間

10:00~19:00

9月の休館日

3・10・18・25日

おはなし会は

15日(土) 11:00~

9月1日は防災の日です

今年は全国各地で、大地震や記録的な集中豪雨による甚大な災害が相次ぎ、40度を超える猛暑など、異例の事態が続いています。

災害はいつ起こるかわかりません。日頃から防災グッズの準備・点検、避難場所など家族で確認しておきましょう。

また、9月はまだ暑い日が続きます。

体調管理にも気をつけ熱中症を防ぎましょう。



『ほんわ館からの挑戦状』終了しました

7月27日(金) ~ 8月12日(日) まで開催し
今年は328名のエントリーをいただきました。
延べ参加者数は15日間で945名、全問クリアを
した探偵は77名でした。

ご参加ありがとうございました。
ございました。



イベント開催にあたっては、小さな探偵たちを温かく
見守ってくださり、ありがとうございました。

第41走者

愛読書リレー

今月のランナーは鈴木 さとみさんです！

『光とともに・・・自閉症児を抱えて』 1~15巻

戸部 けいこ/著

秋田書店



『光とともに・・・
自閉症児を抱えて』
1~15巻
戸部 けいこ/著
秋田書店
【726.1/ト】
(マンガコーナー)

「ぼくは・・・大きくなったら明るく元気に働く大人になります」
この漫画の主人公の光くんが卒園式で、将来何になりたいかをひとりずつ
発表した時、お母さんに手を引かれながら話した言葉です。

周りのお友達は自分の言葉で将来、どんな職業につきたいかを発表
しましたが、自閉症の光くんは「将来」や「大人になったら」などの
未来を想像することができないため、何の職業に就くかよりも「働く大人」
になることを目標としました。

自閉症という発達障害は「言葉」は話せるのに「会話」ができなかったり
します。そのために、周りから誤解を受けることも多いのですが、そこには
どんな「謎」があるのか知りたくて、私はこの漫画を読んでみました。
もし、みなさんの周りにも自閉症の方がいて、不思議だなあ？と思う行動が
あったらこの漫画をぜひ読んでみてください。

「謎」や「不思議」がすこ～し解けるかもしれません。

そして、光くんが「明るく元気に働く大人」になったかどうか、確かめて
みてくださいね。

今月の
おすすめコーナー

「短編小説」

『素敵な日本人』
東野 圭吾 / 著
光文社
【913.6/ヒ】



『女のいない男たち』
村上 春樹 / 著
文藝春秋
【913.6/ム】



ひとつひとつのストーリーが
短く読みやすい短編小説。
忙しい方でも ちょっとした
空き時間に読めるので
気軽に楽しめますね。

ミステリー、ホラー、恋愛小説などなど・・・
サクッと読んでみませんか？

※他にも多数
ご用意しています

『つまをめとらば』
青山 文平 / 著
文藝春秋
【913.6/ア】



『異国のおじさんを伴う』
森 絵都 / 著
文藝春秋
【913.6/モ】



新しく入った本



青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島の
道の駅を案内
SA・PAの人気&話題グルメ、ほかにはな
いような特徴、ニュース情報も紹介
秋の行楽にいかがでしょう

『東北のおいしい道の駅&SA・PA』
JTBパブリッシング 【291.2 / ト】



『かいていとつきゅうしんかいせん』

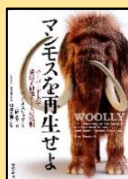
平田 昌広 / ぶん 平田 景 / え
交通新聞社 【E / ヒ】

海の底を走る特別な列車「しんかいせん」
東京駅の地下7階39番線から発車すると、東京湾の海の底を
通って博多湾まで 約9時間の深海旅です



『マンモスを再生せよ ハーバード大学
遺伝子研究チームの挑戦』
ベン・メズリック / 著 上野 元美 / 訳
文藝春秋 【936 / メ】

マンモスを蘇らせる、一大プロジェクトの全貌!



『ひとりぼっちもいいよ』

和田 澄 / 文 石田 享子 / 絵
文芸社 【E / イ】

『親子でまなぶたのしい考古学』

山岸 良二 / ぶん
さかい ひろこ / さしえ
同成社 【202 / ヤ】(児童書)



『美男(イケメン)貴族藤原実方と千歳山の謎』

ご存知、「阿古耶姫と阿古耶の松の伝説」を調べ
ることから始まる新感覚の謎解き物語

東坂 寛風 / 著 文芸社 【913.6 / ヒ】(郷土)



ここに掲載されている本は一部です